

自ら学び、考え、行動する「生きる力」の育成

～「自己肯定感」を高め、「個性」「自立心」を伸ばす指導の推進～

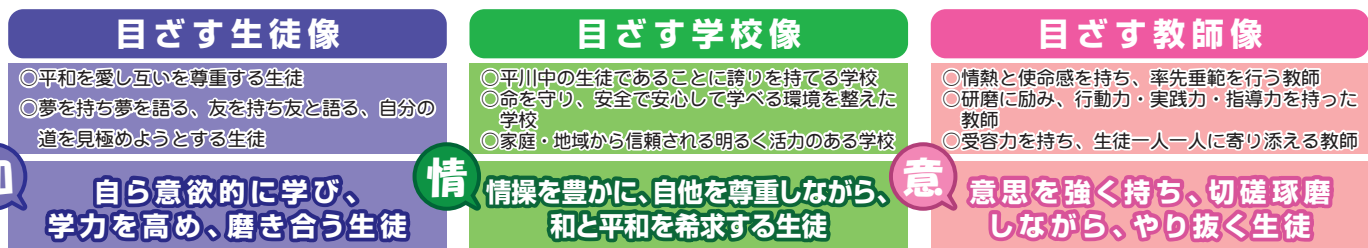
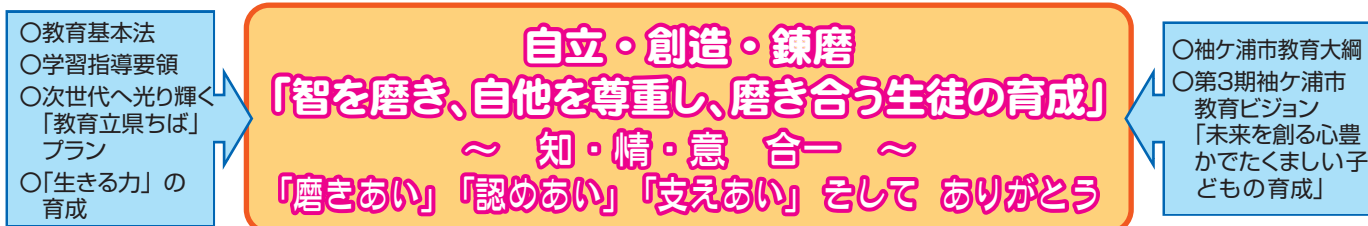
学校教育が最終的に求めるものは生徒の「自立」です。価値観が多様化し、めまぐるしく変化する現代社会において、自ら判断し決定し行動していくこと、すなわち「生きる力」の育成が重要です。時代に即応した生き方、職業選択の在り方、具体的な将来のイメージや目標が持てるように、「自ら学び、考え、行動する」つまり『生きる力』（自立）の育成に努めます。

また、一人ひとりの個性について、認めあい、支えあう風土を醸成します。本校校歌にある「人の和」を大切にするためには、「認めあい」「支えあい」が大切です。自他を尊重し、未来を創造する力を育成します。（創造）

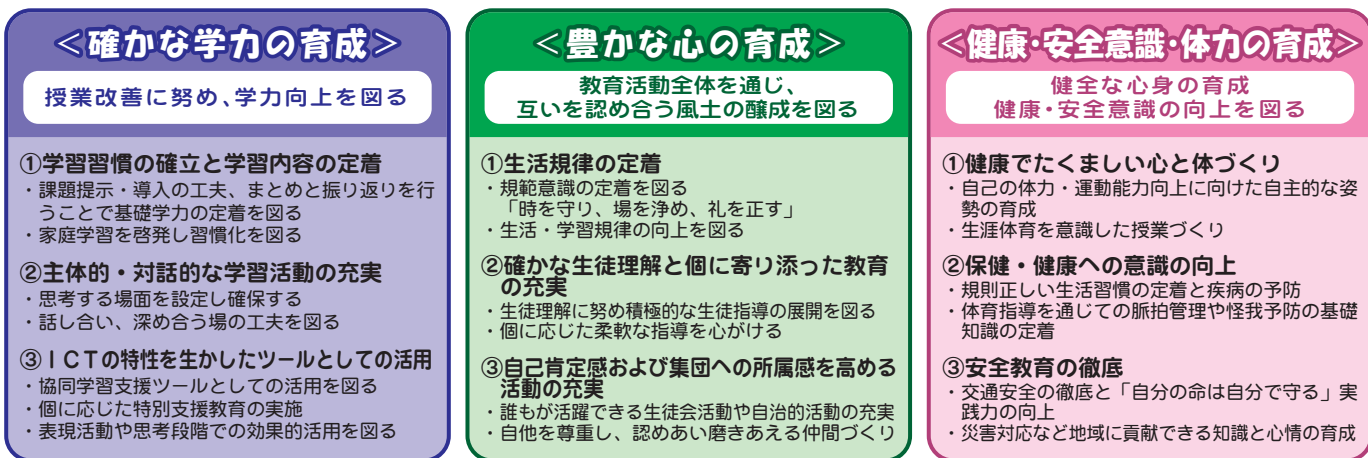
更に「磨きあう」関係を育みます。認めあい磨きあう姿勢には自他に対する厳しさと優しさが含まれます。弱さ強さを認めたくて「磨きあい」、支え合う心を育成します。（錬磨）3つの「あい」の先には「ありがとう」という感謝の気持ちが持てる生徒を育てます。

「知・情・意」すべてを大切にした教育を平川中学校は目指します。

令和7年度 袖ヶ浦市立平川中学校 学校経営コンセプトマップ



指導の重点



全職員が協力・協働し、家庭・地域から信頼され、ともに歩む学校をつくる

経営の重点

